

第3回 『危険源調査』相互確認会

日時 2021年7月8日(木) 9日(金)
 訪問者 西尾労働基準協会 会長、協会
 岡崎労働基準監督署西尾支署
 支署長、安全専門官

主旨 西尾管内から大きな災害を発生させない

目指す姿

『危険源』を調査/層別し警戒すべきものを特定
 危険源は危ないところを見つけるのではなく調べる
 関連する『作業』を把握する
 以上で許容できないリスクを見える化
 そしてそこを『マネジメント』する その内容は

- ①危険源/作業吸いあげのしくみをつくる
- ②人・機械にミス・エラーがあっても災害を防ぐ
ソフトとポカヨケの併用 実例) 18の鉄則
- ③QCDSME総合的な視点で定着させてゆく

この会は入り口の
 『危険源を調べてますか』がテーマ



伝承できて
 いるか?..
 で振り返り
 しましょう

危険源

- ・名称、数値、情報/特性が
調べられているか
- ・搬入から廃棄までの全工程を
想定しての調査か



旭鉄工様



タマリ工業様



三周全工業様



村井鉄工様



セイワ様



金山化成様



兼子合金様



タカラ化成工業様



相互確認会を終えて・・・
 今回を機に “ここを変えてみたい” と言って頂いたこと

事業所名 *敬称略	変えてみたい点
旭鉄工	危険源、そのメカニズムと作業の関りを入れた構成にして後輩が独学もできるイーラーニングで仕上げたい そして手順書とリンク
三周全工業	機械リストから危険源とそのメカニズムで “何故？” をまとめ上げ手順書とリンクさせる
金山化成	危険源と作業との関りから説明をスタートできるようにする 動力挟まれ部位から着手する
タマリ工業	レーザーの専門会社として何故リスクが高いかを災害発生プロセスに沿って整理し社内外に展開する そうしなければいけない
セイワ	まず手順書に安全を入れることから始め 重点は何故そうしなければいけないかを整理し 皆が共有できるようにする
兼子合金	この物体/物質はこのメカニズムを持っているよ・・・を記録に残して 見える化してしっかり後輩に伝えるツールを作る
村井鉄工	振り返ってみれば 教育ツールはやり方が中心になってしまった 何故をしっかりと教えられるようにする その為にも危険源と作業が大切
タカラ化成工業	作業内容から洗い出す “これが許容できない危険源” と皆に言えるよう漠然としていたものを見える化する